

網走中部森林管理署
置戸町青年団体連絡協議会

平野友幹
那珂琴絵(森林工芸館職員)
中津山莉穂(置戸町役場職員)

取組の背景・目的

歴史的に社会教育を中心とした町づくりをすすめ、地域産材を利用したオケクラフトで知られる木の町・置戸町を舞台とし、置戸町在住の若者層を対象として、森林散策と木工体験を一体にして参加者自身の糧となるような“学び”に重点をおいた森林環境教育を実施しました。

森林管理署
森林

置戸町
木工

×
学び

取組の概要

オケクラフト：置戸町の地域クラフトブランド。

故秋岡芳夫氏によって名付けられました。

秋岡 芳夫：工業デザイナーであり木工愛好家。
大量生産・大量消費社会を危惧し、
日本の手仕事文化や技術の重要性を
後世に伝える活動をライフワークとしました。



オケクラフト



秋岡芳夫

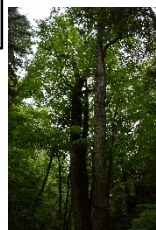
『“らしさ”にふれて、たのしみ、まなぶ 鹿の子沢ワークショップ』を企画し、令和2年9月5日に実施しました。

目的

今回のワークショップでは、森林散策では樹木の多様性と様々な樹種の生き様を伝えることで視点を変え、そこから生まれる気づきや発見を通して、**個性を知ること理解することは楽しい**ということ、木工体験では材料から選び自らの手でモノづくりを行うことで**モノに対する愛着を持つこと**を伝えたいこととして取り上げました。

企画内容

風景林
“鹿の子沢”
を舞台として
企画しました



森林散策 多様な樹種の特徴や
生き様(らしさ)を知る

- ・キタコブシから良い香りがするのは何故だろう？
- ・“カエデ”にも色々な種類がある等を取り上げました

木工体験
で材料とする
枝は散策中
に参加者自身
で選びます

木工体験 おはし、フォーク、
バターナイフを作成

- ・生木を削る感触が面白い！
- ・樹種によって作るモノの材料としての向き不向きがある等を取り上げました

実施内容

当日は雨天のため森林散策は中止とし、当署職員により10種程度の樹木の枝を取り、置戸中央公民館(室内)にて樹木の説明と木工体験を実施しました。



樹木の説明



夢中で木を削る参加者たち

今後の展開

- ・様々な視点から物事を捉えることで、森林や木工に興味を持っていない人にも楽しんでもらえるような発見や気づきが得られ、参加者自身の糧となる“学び”に重点をおいた森林環境教育を広めていけたらと思います。
- ・置戸町での本取組(森林×木工)を例として、地域と協力して**地域の特徴と上手く調和した森林環境教育**を展開していけたらと考えています。



完成したバターナイフ